中村　俊郎氏
中村ブレイス株式会社
代表取締役

基調講演　空想の翼で駆け現実の山野を往かん
～故郷 石見銀山で起業し、小さな世界企業へ～

「マルコ・ポーロ」と「実業家」。父からもらった２つの言葉を頼りに歩んでこられました。
京都の工房は職人の世界。将来に疑問を感じ、アメリカで義肢装具の修行を積み、故郷・大森町で創業されます。
「お金もないし、何も無い。患者さんもなければ、顧客もなかった。ただあるのは、夢と若さ」だったとのこと。
「人に喜ばれることをし、人の支えになりたい」との一心で開発に取り組み、人工乳房ビビファイ、シリコーンゴム製人工補正具スキルナーなどを開発。
いまでは、山間の人口約400人の町にありながら、世界中から感謝の手紙が届く会社として有名です。
中村氏のお話から、顧客満足、地域貢献についてあらためて考えてみましょう。

＜講師プロフィール＞
1948年2月、島根県大森町生まれ。66年、島根県立大田高校を卒業後、京都の義肢製作所に入社。71年、近畿大学短期大学部商経科卒業。71年、渡米し、義肢装具メーカーで世界的に有名なホズマー社を視察。72年、モダン・オーソペディク社（アメリカ・カリフォルニア州）入社、カリフォルニア大学（ＵＣＬＡ）メディカルスクール、ランチョー・ロス・アミゴス病院で、当時、最先端の義肢装具の製作技術を学ぶ。
74年、故郷の島根県大田市に中村ブレイスを創業し、義肢装具、人工乳房ビビファイなどを製造・販売。
アート感覚で超リアルな乳房・手指などを製作したとして、2007年ものづくり日本大賞特別賞（中村俊郎氏と5人のメンバー）。08年渋沢栄一賞、10年「メセナアワード2010」メセナ大賞（公益社団法人企業メセナ協議会）、同年毎日国際交流賞などを受賞。
石見銀山資料館理事長（2000～）、国際義肢装具連盟（インターボア・本部ベルギー）日本代表（1995年～）、マレーシア国立マラヤ大学病院客員講師（1992～）、国立大学法人島根大学客員教授（2004～2008）、島根県教育委員会委員長（2001～2006）、　文部科学省 文化審議会専門委員（世界文化遺産・無形文化遺産部会）（2012～）などもつとめる。

経営フォーラム2015
実行委員長
石田　佳夫氏

ごあいさつ

昨年度まで各支部の持ち回りで開催してきました「広島県経営研究集会」は、第6次中期ビジョンに沿って、今年度から開催地を原則広島市とし、全県で組織された実行委員会の下、将来的には800名～1000名の参加を実現するよう、大きく変化しました。それに伴いまして、この変化を会員の皆様に認識いただけるよう、名称を「経営フォーラム2015」に変更することになりました。「経営フォーラム2015」は、参加すれば自社の経営課題解決の糸口がつかめる、年に一度、必ず参加すべき行事だ、と言って頂けるように、実行委員会一同、力を合わせて準備を進めております。「経営フォーラム」へ行こう！とベテランから新会員の方まで広く声を掛け合っていただくと共に、会外へのＰＲも積極的にお願いしたいと思います。

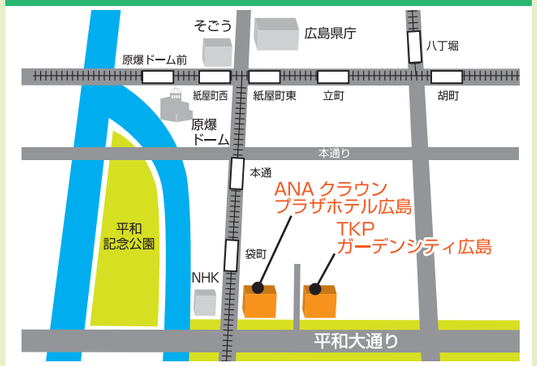
基調講演では、中村氏から「何のために経営をするのか」という大きな問題提起から始まり、分科会は委員会・各支部の準備で幅広いテーマが揃いました。そして、記念式典・懇親会へ続きます。

今年のテーマは、「企業進化論～変化したものだけが生き残る」といたしました。常に時代の流れに対応できる進化のヒントを掴んでいただき、変化・発展する企業をめざして学び合いましょう。「経営フォーラム2015」は、すべての会員が参加すべき行事として位置づけられて、多くの皆様にご参加いただけますよう、心よりお待ちしております。

当日のスケジュール

12:30	13:00	13:15	14:35	14:50	18:20	18:35	20:45
受付開始	開会（15分）	基調講演（80分）	休憩・移動（15分）	分科会（210分）	休憩・移動（15分）	式典・懇親会（130分）	

交通アクセス



ANAクラウンプラザホテル広島（メイン会場・分科会会場）
広島市中区中町7-20
TEL. 082-241-1111

TKPガーデンシティ広島（分科会会場）
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ2F/3F
TEL. 082-536-0330

※駐車場はご用意しておりません。公共交通機関をご利用下さい。

お問い合わせ　お申し込み先

□**広島県中小企業家同友会 本部・広島事務所**
〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ8F
TEL. 082-241-6006 FAX. 082-241-6007

□**福山事務所**
〒720-0066 福山市三之丸8-16 福山ニューキャッスルホテルB1F
TEL. 084-923-0286 FAX. 084-923-0284

□**呉事務所**
〒737-0046 呉市中通4-4-7 笹兵衛ビル101
TEL. 0823-23-9711 FAX. 0823-23-9141

経営フォーラム2015参加申込書

※空欄にご記入、該当箇所に○印をつけて9月30日（水）までにお申し込みください。10月1日（木）以降のキャンセルは参加費を返却できませんのでご了承下さい。

区分 参加形態	会　員　・　会員外	支　部		第一希望分科会	第　　分科会
会社名				第二希望分科会	第　　分科会
役　職		お名前		経営指針の有無	あ　り な　し

※お申し込みは同友会事務局までFAXもしくは郵送にて9月30日（水）までにお送り下さい。

経営フォーラム2015

第29回 広島県経営研究集会

企業進化論
～変化したものだけが生き残る～

労使見解にある我々が信条とする経営姿勢は「経営者である以上、いかに環境がきびしくとも、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させる責任がある」です。
老舗企業が生き残って来たのは「革新の連続」という話も聞きます。時代を読み解き、自社の経営課題を明確にし、進むべき方向へ歩みを始める「変革・進化」の契機をこの経営フォーラムでつくります。

人を生かす経営の実践を広げ、仕事をつくり、暮らしを守り、夢の持てる地域をつくろう

基調講演
空想の翼で駆け
現実の山野を往かん
～故郷 石見銀山で起業し、小さな世界企業へ～

中村ブレイス株式会社
代表取締役 中村俊郎 氏

日時　2015年10月7日（水）13:00～
12:30受付 13:00開会 13:15基調講演 14:50分科会 18:35懇親会 20:45閉会

会場　ANAクラウンプラザホテル広島
TKPガーデンシティ広島

参加費　11,000円
基調講演・分科会・懇親会

●主催／広島県中小企業家同友会・広島県　●後援／広島市・福山市・府中市・尾道市・三原市・呉市・東広島市・廿日市市

1 第1分科会 担当:経営労働委員会

幸せと未来を創る経営指針

総合包装(株)
代表取締役
宮城　勇氏
(沖縄同友会 浦西支部 幹事)

■設　立:1976年
■資 本 金:2,000万円
■年　商:17億円
■社 員 数:43名(内パート・契約社員6名)
■事業内容:包装資材、包装機械、食品機械、物流機器等の販売、ISO・HACCPシステム構築支援
■U R L:http://www.sogo-hoso.co.jp

～指針の共有と実践で「最幸」の会社をめざす～(経営指針実践編)

経営理念や社是・社訓(設計図)のない経営から、指針作成塾で経営指針を作成し、経営計画研修会を企画。会社が学習する組織へと転換していくと共に、仕事を通して人間的成長ができる社風づくりをめざす勉強会など様々な仕組みを導入。目標を立て、実践し、検証し、発表するルーティンの仕組化、企業変革支援プログラムの全社での活用など、会社をより良くし、学びあう組織風土が育まれました。
実践報告と将来ビジョンから経営指針実践のヒントと成果を学びます。

2 第2分科会 担当:求人社員教育委員会

人を生かす経営ってなに？！

日鐵鋼業(株)
代表取締役
能登　伸一氏
(広島同友会 副代表理事)

■設　立:1971年
■資 本 金:3,000万円
■年　商:15億3,000万円
■社 員 数:38名
■事業内容:鋼材卸、厚板ガス焔断レーザー切断、特殊鋼切断販売
■U R L:http://www.nittetu.jp

～ＧＣＨ(企業内総幸福)から日鐵内総幸福へ～

1990年に同友会に入会。学んだ事を、少しずつ会社に生かしてきた能登氏。
2010年に福山支部長になったことが大きな転機になります。所信表明でＧＣＨ(企業内総幸福)を高めることを宣言。同時に自社の経営スローガンを「日鐵内総幸福の向上」としました。取り組みを数年続けることで、社内が大きく変化。　まさに、「人を生かす経営」を着実に実践中です。
【日鐵鋼業(株)　経営理念】
我が社は鉄鋼金属分野において、ものづくりの一翼を担い、全社一丸となって地域の皆様から信頼され愛されることを目指します。そして社員一人ひとりの幸福と夢を実現させるとともに地域社会の発展に寄与することを誓います。

3 第3分科会 担当:政策委員会

中小企業憲章にそった税制への転換をいまこそ求める

税理士法人アルファ合同会計
社員税理士
菅　隆徳氏

菅隆徳氏は、今年3月、横浜で行われた中小企業問題全国研究集会で「中小企業の立場での税制のあり方」を報告されました。

～中小企業の立場から考える外形標準課税・消費税・法人税等の問題点～

安倍政権の「税制改革」は中小企業に大きな影響を及ぼすものです。大企業中心の法人税減税の財源のために、中小企業への外形標準課税適用拡大や10%消費税などの増税が計画されています。大企業優遇税制の実態や中小企業の経営に食い込む消費税増税の実態、外形標準課税など「日本の税金の現実」をつかみ、中小企業家の努力が生き、地域が活性化し、成長できる、中小企業憲章の精神にそった税制の転換を考えます。

4 第4分科会 担当:地球環境委員会

環境メーカーとして地域に発信

(株)リバイブ
代表取締役会長
平沼　辰雄氏
(愛知同友会 中同協地球環境委員長)

■設　立:1984年
■資 本 金:1,200万円
■年　商:15億円('13年7月実績)
■社 員 数:34名
■事業内容:産業廃棄物の収集運搬・中間処理、建築物の解体(営業管理)、環境共生機器販売に関わる事業活動
■U R L:http://www.revive.co.jp/

～地球環境を軸にした「企業づくり」と「新規市場開拓」への挑戦～

「発注者からは値下げの話ばかり、住人からはクレーム、汚い仕事で何ともならん、もうやめたい」と語っていた平沼氏。自社の存在意義は何か考え、たどり着いたのは「地球クリーニング業」。自然環境の回復・復元に挑戦し、善循環型社会の実現をめざすとともに、経営指針を地域に発信。日本財団のCSR報告書調査で、建設業の中でゼネコンに混じって全国４位に輝きます。また、地域との共生を模索する中、様々な新たな仕事が生まれてきました。平沼氏の取り組みから、「地球環境」をキーワードにした企業づくりと仕事づくりを考えます。

5 第5分科会 担当:障害者問題委員会

特別支援学校の卒業生が、社長を変える! 社員を変える! 会社を変える!

<パネルディスカッション>

～共に学び、共に育つ社風が根付き、誰もが輝く企業づくり～

パネリスト
広島県立福山北特別支援学校
前校長
小野　一惠氏

福山市立大学
教育支援センター
特任教員

パネリスト
(有)アサヒフィルタサービス
代表取締役
宮﨑　基氏
(広島同友会 福山支部長/県理事)

■設　立:1996年
■資 本 金:600万円
■年　商:1億6,000万円
■社 員 数:8名
■事業内容:エアフィルタの加工および販売、クリーンルーム機器、シート加工
■U R L:http://www.filter.ne.jp

パネリスト
(株)アシスター
代表取締役
松井　稔氏
(広島同友会 前福山支部理事)

■設　立:1979年
■資 本 金:1,000万円
■年　商:1億5,000万円
■社 員 数:52名(内パート40名)
■事業内容:着物の仕立て、しみ抜きなど和服の加工

パネリスト
(株)オーザック
専務取締役
岡崎　瑞穂氏
(広島同友会 県求人社員教育副委員長)

■設　立:1969年
■資 本 金:3,000万円
■年　商:9億6,000万円
■社 員 数:42名
■事業内容:建築金物、橋梁金物、各種吊具の製造販売
■U R L:http://www.auzac.jp

2008年、福山支部で「お互いを知る」をテーマに支援学校との連携がスタート。学校は企業・地域のために「企業参観日」を実施し、福山支部では先生方を対象に「企業見学バスツアー」を始めました。企業と先生のつながりができると、新たな業種への就職が決まったり、生徒の受入は無理だと考えていた企業で雇用が始まるなど、大きな変化が生まれてきました。小さな連携が学校、企業、地域をどう変えていったのか。
「連携」の取り組みから「働きたい！」という生徒の夢が叶う地域づくりを考えます。

6 第6分科会 担当:地域内連携委員会

自分たちにもできる地域内連携～地域での仕事づくりをどうするか

広島修道大学
人間環境学部 教授
豊澄　智己氏

2003年愛知学院大学大学院
経営学研究科博士後期 単位取得退学

広島修道大学講師、広島修道大学人間環境学部准教授をへて教授、現在にいたる。博士(経営学)

～環境問題こそ中小企業連携でビジネスチャンス～

地域の中小企業にとって、今ほど追い風が吹いている時代はありません。一方、消費者や企業は環境に対する知識を十分に蓄え、少しずつではありますが、環境行動を取り始めています。「環境」をビジネスの対象として捉える好機はすでに訪れているのです。地域に根ざしたコンパクトな環境ビジネスこそ、「地域」と「環境」を結びつける千載一遇のチャンスなのです。しかし、経営資源の限られた中小企業にバリューチェーンのすべてに関わることは困難です。その解決の鍵は地域内連携、つまり地域での仕事づくりに係っているのです。

7 第7分科会 担当:青年部会

青年経営者の可能性

(株)堀内造園
代表取締役
堀内　竜介氏
(広島同友会 青年部会連絡協議会会長)

■設　立:1971年
■資 本 金:2,000万円
■年　商:1億円
■社 員 数:9名
■事業内容:造園工事、緑地管理、造園資材販売
■U R L:http://www.horiuchi-zouen.com/

～自ら変わり見えてきた未来～

23歳の時に現在の会社に入社。元々造園士を目指していましたが、当時の社長の病気がきっかけで経営者を目指すことに。経営については何もわかりませんでしたが、支部理事を通じて徐々に学んでいきました。平成20年、経営労働委員長になったことをきっかけに県青年部を知ります。平成21年に東広島支部にも青年部を立ち上げ、9支部青年部とも関わりを持つようになり青年経営者としての「人格形成」の重要さに気づきました。この分科会では報告者が青年部活動を通じて学んだことや経験したこと、社業に取り入れたことを報告します。青年部活動を通じて会社を良くしていくため現在も奮闘中。

8 第8分科会 担当:女性部会

自分(経営者)の姿勢を変える～経営指針は社員と共に

<パネルディスカッション>

～かわらなきゃ～(経営指針入門編)

パネリスト
(株)アタック
代表取締役
小田　友里香氏
(広島同友会)

■設　立:2007年
■資 本 金:300万円
■年　商:4,000万円
■社 員 数:6名
■事業内容:女性専用リンパケア専門店
■U R L:http://kirei-ouen.com/

パネリスト
(株)明販広島東
専務取締役
岡本　昌代氏
(広島同友会)

■設　立:1995年
■資 本 金:1,000万円
■年　商:2億5,000万円
■社 員 数:14名(内パート5名)
■事業内容:乳製品の宅配事業 ミネラルウォーター宅配事業
■U R L:http://meihanhiroshima.com

パネリスト
(有)広島ピーエス
取締役
船田　千代美氏
(広島同友会)

■設　立:1995年
■資 本 金:300万円
■年　商:3億5,000万円
■社 員 数:30名(内パート9名)
■事業内容:自動車部品組付加工 運搬用台車及び工程間台車・専用ラック
■U R L:http://hiroshimaps.com/

コーディネーター
(株)キャピタルコーポレーション
代表取締役
村井　由香氏
(広島同友会)

■設　立:1985年
■資 本 金:2,500万円
■年　商:2億円
■社 員 数:40名
■事業内容:焼鳥店を三店舗経営
■U R L:http://capital-co.net/

県女性部会は昨年、女性のための女性だけの経営指針セミナーを7回にわたって開催しました。受講者の立場は、経営者本人や経営者夫人、経営幹部など様々でしたが、自社を何とかしたいという熱い思いは共通でした。特に、「自分が変わる覚悟」と「社員と共に歩む姿勢」が大切なことを確認しました。
この分科会では、そうした受講者の学びから、経営指針に真剣に取り組み、全社的なものにするにはどうしたら良いのか、一緒に考えてまいります。
経営指針にはじめて取り組む方、取り組みはじめて間もない方、まだ実践できていない方などを対象にした分科会となっています。

9 第9分科会 担当:呉支部

中小企業が「変わらなきゃ！」

～良い経営環境を自らつくろう～

呉伸工業(株)
代表取締役
岡本　祐一氏
(広島同友会 呉副支部長)

■設　立:1974年
■資 本 金:1,000万円
■年　商:5億円
■社 員 数:29名
■事業内容:化学・製鉄・発電装置等の産業プラント用の騒音防止、環境保全機器及び特殊圧力容器の設計・製造
■U R L:http://kureshin-kogyo.com

呉市産業部商工振興課
課長
笠井　康弘氏

呉信用金庫 営業店支援本部
法人取引支援グループ
グループマネージャー
近藤　孝氏

中小企業を取り巻く情勢や環境はきびしさを増しています。そんな中、地域に密着して経営している中小企業に大きな期待が寄せられています。その期待に応えていくために、中小企業に求められていることは何か。同友会の設立の精神である「自助努力」、そして経営を維持し、発展させていく経営者の責任が今こそ問われています。本分科会では、中小企業の自助努力を柱に、呉市で始まった行政や金融機関との連携の取り組みから、夢の持てる地域づくりを展望し、中小企業が地域を支えていくことの意味を深めていきます。

10 第10分科会 担当:尾道・三原支部

経営者の役割とは

(株)クニヨシ
代表取締役
早間　雄大氏
(中同協青年部連絡会 共同代表／広島同友会)

■設　立:1992年
■資 本 金:1,000万円
■年　商:5億3,000万円
■社 員 数:37名(内パート１名)
■事業内容:鉄・ステンレス等の一次加工から溶接組立まで一品物から大量生産物まで製作可能
■U R L:http://kuniyoshi-fukuyama.co.jp/

～同友会で何を学び、どう経営に生かすか～

「同友会活動と会社経営は不離一体」と早間氏は語ります。
きっかけは同友会入会と入会直後の体験報告でした。「こうなりたい」と 初めて強く想い描いたことにより、行動が変わり、またアドバイスや情報も集まり、それまではただただ悪循環をしていた社業の好転が始まりました。
「自分が変われば会社も変わる」。同友会に入会したばかりの方、経営者としてなすべきことが何なのか模索中の方、今自分がすべきことを一緒に考えましょう。